



荒尾市シルバー人材センター
竹稔範さん (東宮内・73)

▲平成 18 年、シルバー人材センター入会。表具班班長を務める。

生涯現役で楽しく働く

定年退職後、すぐにシルバー人材センターで働き始めました。現役時代の職務経験を生かし、ふすまや障子などの張り替えの仕事をしています。

いい仕事をしてお客さんに喜んでもらいたいので、丁寧な仕事をするように心掛けています。シルバー人材センターではさまざまな業務を取り扱っています。自分たちの部署がいい加減な仕事をすれば、仕事の依頼が減り、他の部署にも迷惑をかけてしまいます。なので、みんながプロ意識を持って、仕事に取り組んでいます。

元気で楽しく働くことは本当に幸せなことです。生涯現役で仕事を続けたいと思っています。働ける人は働いて、いつまでも輝き続けてほしいですね。

いくつになっても挑戦を

中学生の頃にソフトテニスを始め、大学生からテニスをしています。昭和 50 年に市のテニス協会の立ち上げに携わったのがきっかけで、本格的にテニスを行うようになりました。ずっとテニスを続けてきたおかげで、若い頃とほとんど体重は変わらず、大きな病気をしたこともありません。

練習や遠征などを通して、たくさんの仲間と関わりが持てるのも楽しみの一つです。長年、テニスをしています。経験を重ねれば重ねるほど難しく奥深い競技です。それでも、たまに自分のイメージ通りのプレイができたときはとってもうれしいですね。

93 歳の練習仲間がいます。その人のように私もいくつになっても挑戦し続けたいと思います。



荒尾市テニス協会副会長
加藤公一さん (野中・76)

▲昨年、県代表として、全国健康福祉祭(ねんりんピック)出場。平成 26 年度熊本県スポーツ功労者表彰受賞。



熊本市町村広報担当者による合同特集 番外編

荒尾の笑顔の魔法

荒尾市には年を重ねてもいろいろな分野で元気に輝いている人たちがたくさんいます。今回はそのほんの一部の人たちを紹介します。

タマネギの直採り販売!



たくさんの笑顔に出会いたい



えがおの会

▲昨年、「エイジレス・ライフ及び社会参加活動実践事例」に選出。年齢に関係なく、いきいきと社会で活躍する人に贈られます。

5 年前から、端切れを利用して草履を編み、市の育児学級の際にプレゼントしています。赤ちゃんやその家族の笑顔から私たちも元気をもらっています。「今回で 3 足目です。上の子たちの草履も大切にしています」との声もあり、うれしく思っています。

おしゃべりしながら、みんなで草履を編むのが楽しみです。たくさんの人に喜んでほしいので、家でも草履を編んでいます。

会員も高齢なため、上手な人が元気なうちに、若い人たちに技術を伝えていけたらと思います。今後もたくさんの笑顔に出会えるよう、みんなでおしゃべりしながら、楽しく活動を続けていきます。



17 年前から幼なじみ 13 人で環境美化活動を始め、5 年前から遊休農地を活用して、タマネギやトウモロコシなどを育てています。自然を相手に作業しているので、大変なこともあります。けれど、体を動かしながら、みんなで和気あいあいと楽しく活動しています。

機械の扱いが得意な人、農業に詳しい人など、それぞれが特技を生かし、役割を持って、活躍しています。

一般の人にも里山に親んでもらえるよう、収穫体験ができるイベントを行っています。お客さんの「おいしい」「楽しい」という声私たちの原動力です。これからも楽しみながら、体を動かし、里山ファンを増やしていけるように頑張ります。

和気あいあいと体を動かす



海行原ふるさと愛好会

▲平成 26 年度熊本県農山漁村女性シニア活動 シニア起業・地域活性化部門 熊本県知事賞受賞。平成 26 年度熊本県農業コンクール大会 食と農部門 優良賞受賞。